

# 事業者のパフォーマンスを発揮させる提案により安全風土を醸成



## 入社の理由 **こしかないと直感**

私が自動車運転免許証を取得したのは平成5年9月のことですが、当時は第2次交通戦争とも呼ばれる時代で、昭和63年から8年連続して交通事故による死者数が1万人を超えるというような状況にありました。

このような時代を背景に就職活動の時期を迎え、学生時代から漠然と社会に貢献できる仕事をしたいと考えていたところ、NASVAの前身である「自動車事故対策センター」が、交通事故防止のみならず、交通事故被害者の支援も行っていることを知り、就職するのはこしかないと直感し、志望しました。

## 業務の役割 **安全意識の向上に取り組む社内風土の醸成をサポート**

現在、東京主管支所において安全マネジメント業務を担当しています。「安全マネジメント」と言われても聞き慣れない言葉かと思います。「安全マネジメント」とは簡単にいいますと、各自動車運送事業者が経営トップを中心に全社一丸となり、安全意識の向上に取り組む社内風土を醸成することです。私の業務は、その社内風土を醸成するお手伝いをあらゆる角度からさせて頂くことです。具体的には、「安全マネジメント」を普及させることを目的とした講習会の実施、事業者が「安全マネジメント」体制を構築するためのコンサルティングの実施、管理者及び運転者の意識改革を進め安全風土を醸成するための講師派遣などがあり、日々、運送事業者が交通事故の削減に向けた安全への取り組みを支援する様々な業務を行っています。

## 仕事のやりがい **事業者と共に考え、共に歩み成長を感じる**

安全マネジメント業務を行うに当たり最も重要となるスキルは、事業者が目指すビジョンを感じ取り、NASVAとしてどのようなお手伝いが出来るかを考え、それを表現する力、つまり、事業者のパフォーマンスを十分に発揮させる提案力です。

このスキルを十分に駆使し、事業者の安全マネジメント体制が構築され機能した姿に接することが出来た際には、私は最高の喜びを感じています。

安全マネジメント業務、特にコンサルティング業務については、各事業者との付き合いが長期間に渡ることから、事業者が目指す姿に向け共に考え、共に歩み成長を感じることができます。そして自分の仕事を通じて、安全風土が醸成(具体的に事故が削減)した際には、NASVAとともに歩んできて良かったと実感して頂くことができ、これこそが私のやりがいに繋がっています。



## 学生へのメッセージ **組織の成長を実感できる職場**

NASVAは社内の風通しが良く、自分が置かれた様々な立場から仕事へのアイデアを提案し具現化しやすい環境にあり、一人ひとりの職員が自ら考え行動する活気のある職場です。

だからこそ、個々の職員、延いては組織の成長を実感できる職場であると言えます。就職活動は長期戦ですし、仕事に対する当初のモチベーションを維持するのは大変ですが、将来のビジョンを明確に持ち就職活動を頑張ってくださいと思います。

最後に、皆さんと共に働ける日を楽しみにしております。



### **小山田 和利** オヤマダ カズトシ **東京主管支所チーフ**

平成9年4月入社  
経済学部経済学科卒

安全指導業務を中心に携わるなか、交流人事により国土交通省東京運輸支局監査担当を経験、その後、栃木支所の安全指導業務担当を経て現在に至る。